

編集後記

『放送大学文化科学研究（The OIJ Journal of Arts and Sciences）』の第2巻が刊行となりました。ご寄稿下さった皆さん、原稿チェックを下さった指導教員の先生方をはじめとしてご協力頂いた多くの皆さんに改めてお礼を申し上げます。

創刊号が好評を持って迎えられたことは編集委員会としても喜ばしく、生みの苦しみも吹き飛ばすほどでした。そうではありつつも、第2巻の編集にあたっては不安がない訳ではありませんでした。創刊時にはあったと思われる「何か新しいことが始まるのなら是非それに関わってみたい」という気持ちに頼ることは期待できないからです。執筆希望調査の結果が明らかになるまでの言い得ぬ不安は思い出したくないというのが正直なところです。しかし、既に本文をご覧になった皆さんはそれが全くの杞憂であったことをご存知でしょう——とくに本巻では、本誌の母体である修士課程学生論文集の枠を越えて、博士研究報告、博士課程研究論文への投稿がありました。これらの新しいカテゴリがどのようなものか、少し説明が必要でしょうか。

博士研究報告は、博士後期課程修了者による博士論文の解説に相当するものです。新たに各分野の専

門家となった皆さんが博士として認められるに至った研究のエッセンスをコンパクトに解説して下さったもので、決して規模の大きくない本学大学院で行われる研究の幅広さには改めて驚かされます。一方の博士課程研究論文は、博士後期課程に在籍中の皆さんによる論考で、今まさに進められている研究の息づかいが感じられるのではないのでしょうか。

さすがは博士だという感慨を思わず抱きましたが、それはいささか軽率かも知れません。修士研究報告、修士研究短報を読み返してみるに、博士に値すると言っても過言でない論考も少なからずあるようです。社会人として多くの経験を有する本学の大学院生ならではのということでしょうか。そのように考えると、きっと世の中には未だ形にならぬ研究の種を持つ方が沢山いらっしゃるのでしょうか。そのような方々が放送大学大学院の扉を叩き、その種を確かな形にして世に問うツールとして、本誌が活用され続けることを心から願っています。

2023年2月10日

2022年度オンラインジャーナル編集委員会を代表して
安池 智一

放送大学文化科学研究 第2巻

The OIJ Journal of Arts and Sciences Vol.2

2023年2月20日発行

[編集] 放送大学文化科学研究 編集委員会

[発行] 放送大学

〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉2-11

Tel : 043-276-5111 (総合受付)